



Title	沖縄関係21 返還交渉前史（対米・対内）（大臣・ハンフリー会談 外務省外交史料館レファレンス番号：H223602）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.8 公開日：平成23年2月18日 外務省外交史料館管理番号：2011-0024 CD・DVD番号：H22-021
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43734
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

大臣ハニマリト会談

北米局長

北米局長

参事官

北米課長

秘

事務連絡

昭和42年9月22日

板村北米課長殿

北米 干渉書記

神純内記 (三木 ^{さん} 参事官)

国防相回信を各係所 日南担当官下

CONSTANT大佐 (中支隊内記、砲兵出身) が

9月21日小官に求めたと、御多事お下化のと方々。

記

6. 今般の三木 ^{さん} 参事官に 自分を降参

GA-4

外務省

3444

12月2日最毛印を下さいねの件 双方とも

如何にも慎重であったことである。二つは

七と七 搭般の子借りにある二翼と三と

足りたか、何か「土俵が狭い」(Cramped) 状態がた

2. 次に自分の受け取った印象では、日南側最高

首脳内には内記に度々素直の分岐が

ありのようだった。という二つである。(と三つ

は少し然地、と伺うたので、「七は七は

合然内」云々の、では最高首脳の決定が

得たか云々、というのが ^{正解} ~~正解~~ だった、と

求めたか云々) ありと集約の中にも二つ

は(加出たか、はつとした搭格も出た

かった。

GA-4

外務省